

# 会長方針

---

## 植田 正男

2011-2012年度のR Iのテーマは『**こころの中を見つめよう 博愛を広げるために**』です。さらに2700地区ガバナーのテーマは『**もっと親しく もっと楽しく**』です。

これを受けて福岡北RCの本年度のテーマをRCの原点を探る意味から『**友情と寛容**』にしました。

3月11日の東日本大震災は、我国の政治・経済・社会のあらゆる状況を一瞬にして変えました。復旧・復興にあたってどこから手をつけていくのか、どのような目標を設定していくのか、混迷が続いています。こうした中、ロータリークラブのあり方・活動も問い直さざるを得ません。

ロータリークラブは100年以上の歴史を有し、そこには先達の数々の英知が詰められています。そこで本年度の当クラブのテーマを、ポールハリスが出発点とした『**友情と寛容**』としました。

『**友情**』は地区ガバナーの方針ともつながるものです。異業種の会員が、例会や親睦活動を通じて交友を深められるよう「クラブ奉仕」の充実・強化を図ります。さらに、会員相互の交流を深めるなかで「職業奉仕」の理念を徹底させます。

『**寛容**』はR Iのテーマともつながるものです。ネット社会は利便さの一方で人の絆を弱体化させ、利害衝突を増幅させています。日本人の美德でもあった寛容さが失われつつあります。今回の震災は、こうした我々の心の中を大きくゆさぶるものです。小さなクラブではありますが、「社会奉仕」「新世代奉仕」「国際奉仕」のそれぞれの事業を展開していく中で、他のクラブとも連携して、将来の礎となる活動をしたいと考えます。